

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻と野菜が主体の平地農業地域で優良農地が多い地区
- 地域の少子化、高齢化により農業の後継者が減少しているため、担い手への農地の集積・集約を進めていく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 担い手への農地の集積に伴う経営規模拡大に対応した効率的で安定した農業経営の支援が必要。
- 助成対象者は、耕作者不在の農地の受け手となり、人参・ブロッコリー等を生産している。更なる規模拡大と作業の効率化を図るための高性能農業機械等の導入を支援することで、今後の地域の担い手として育成・支援する。



助成対象者「〇氏」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成24年 営農開始
- 令和4年 経営改善計画認定

《事業活用の背景》

○ 地域の農業の担い手として、経営面積を拡大するためには農作業の効率化や低コスト化が必要。経営面積の拡大に向け、収穫、管理作業等の効率化に資する高性能機械等を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○付加価値額 4.9百万円

○経営面積 9 ha

《事業による整備内容》

- トラクター(フロントローダ等付)
事業費 6,800千円
(国費 3,090千円)
- 人参収穫機
事業費 3,400千円
(国費 1,545千円)
- 人参水槽コンベア
事業費 1,380千円
(国費 627千円)
- マルチスプレーヤ
事業費 840千円
(国費 381千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○付加価値額 15.7百万円
(320.4%)

○経営面積 13 ha (144.4%)

事業の
効果

《対象者》 導入機械による農作業の効率化及び低コスト化が実現し、付加価値額が増加。
《地 区》 安定的な農業経営により、後継者が不足する地区の担い手を育成・確保。